



思齊のしせい

大阪府立思齊支援学校 支援室だより
第64号 令和5年5月12日
支援室

本校では、高等部入学にあたり、各家庭にASA旭出式社会適応能力スキル検査を配付し、回答をお願いしています。その後、学校で採点を行い、結果について保護者と共有し、指導・支援に役立てています。そこで今回は「ASA旭出式社会適応能力スキル検査」について紹介したいと思います。

ASA旭出式社会適応能力スキル検査とは

ASA旭出式社会適応能力スキル検査は、幼児～高校生の社会適応スキル（言語、日常生活、社会生活、対人関係）を評価する検査であり、全般的なスキルの発達、スキルの個人内差を把握し、指導・支援に活かすことができます。子どもの日常生活をよく知る大人（保護者や担任）が回答し、実施には20～30分かかります。



スキル検査の構成

言語スキル…「指示を理解する」「経験したことを話す」「拒否や要求を表す」「読む」「書く」など
日常生活スキル…「身だしなみ」「健康管理」「食事の準備と片づけ」など
社会生活スキル…「お金の理解と管理」「環境の変化への適応」「他人への関心と共感」など
対人関係スキル…「会話・コミュニケーション」「きまりを守る」「礼儀」「感情や行動のコントロール」など

検査結果について

ASA旭出式社会適応能力スキル検査には基本版プロフィールと臨床版プロフィールがあり、合計点を出したのちプロフィールを作成します。基本版プロフィールでは同学年段階集団内における相対的位置、スキルレベルの個人内差を確認することができ、スキルに遅れがあった場合、下位領域レベルでの個人内差を把握できる臨床版プロフィールも用います。

結果が出たら…

懇談等にてご家庭と結果を共有しますが、以下の点に注意します。

- ・検査の目的について説明する。（本人への指導・支援に役立てるために実施していることを伝える。）
- ・本人の日頃の様子と関連させながら結果を伝える。
- ・獲得できていないスキルだけでなく、できていることや得意なことについても共有する。
- ・今後の指導・支援について「一緒に」考えて確認する。



〇〇が得意ですね。
今後は□□□にも
取り組みましょう。

最後に

検査は実施することや採点することが目的ではありません。結果を通して、本人の現在の状況や支援の必要性を明らかにすることが大切です。検査に対して「嫌だな…。」「順位をつけられているみたい。」と感じるご家庭もあると思います。そのことを十分に理解したうえで、丁寧に検査の目的を伝え、指導・支援について一緒に考えることができればいいですね。

